

J R 東日本労働組合

N A G A N O

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2022年 2月 13日 No. 431

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

第9回 青柳事故研修を開催しました

2月9日、中央東線青柳駅において「第9回青柳事故研修」が開催されました。今回も新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため青柳塾生を中心に行いました。当日は寒いながらも例年よりは暖かいなか、マスクの着用や手指消毒、ソーシャルディスタンスを取るなど、感染拡大防止に留意しながらの研修となりました。当日は「安全の碑」があった場所などでの研修、事故発生時刻の9:26に参加者全員で黙祷を捧げました。



青柳事故から24年目を迎え、青柳事故自体をよく知らない社員、事故当時にはまだ生まれていない社員も増えてきました。運輸職場では「新たなジョブローテーション」によりベテランが転勤し、各職場の仕事に精通した先輩がいなくなり、過去の事故から生まれた安全に対する考勤の伝承が危ぶまれています。また、「現業機関における柔軟な働き方」や「変革2027の実現に向けた組織の再編」など、会社の今後の動向についての不安が渦巻いています。



「長野冬季オリンピックを成功させるために何でもあり」の状況下で青柳事故は発生し、一人の尊い命が失われました。教訓を生かし、二度と同じ事故を起こさせない、仲間や家族に二度と悲しい思いをさせないために私たちは「青柳事故」を伝えてきました。今後も一人でも多くの仲間に青柳の地に立ってもらい、実態を伝えて労働組合の立場から「命」と「安全」を守り続けていきます。

青柳事故から24年、事故を風化させず職場から「安全」をつくりだそう！